

三重とこわか国体・三重とこわか大会における参加可否基準

本参加可否基準は、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開・閉会式及び競技会（以下、「大会」という。）に参加する全ての者（※各競技会における観客を除く。）を対象とする。

1 大会への参加を認めない者

(1) 体調管理チェックシートの体温、健康状態で判断するもの

- ・大会参加日（※1）の14日前の時点もしくはそれ以降において、発熱（37.5℃以上）又は体調管理チェックシートの「健康状態」欄の調査項目に1つでも「あり」に該当した者（以下、「感染疑い者」という。）
- ・ただし、上記の感染疑い者について、次の条件が全て満たされた場合、参加を認めなくても構わない。

①感染疑い症状発症後に少なくとも10日が経過していること。

（10日が経過している：発症日を0日として10日間のこと）

②薬剤を使用していない状態で、解熱後及び症状消失後に少なくとも72時間が経過していること。

なお、上記①及び②を満たさない場合であっても、感染疑い症状の発症日が大会参加日3日前以前であり、かつ、感染疑い症状が消失し、新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと（※2）（※3）を示す医師の診断書がある場合、参加を認めても構わない。

※1 大会参加日は、三重県外の者は「来県日」、三重県内の者は「公式練習やリハーサル等を含む大会参加初日」とする。

※2 「新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと」を示すため、PCR検査等が推奨される。

※3 「新型コロナウイルスの感染リスクが低いこと」には、新型コロナウイルス感染症以外の傷病も考えられる。

(2) 体調管理チェックシートの行動歴で判断するもの

- ・大会参加日の14日前の時点もしくはそれ以降に、PCR検査等で新型コロナウイルス感染症の陽性反応があった者（感染者）又は感染者と濃厚接触があった者（濃厚接触者）（※4）

※4 濃厚接触者とは、「保健所の調査により濃厚接触者と判断された者」と定義する。

- ・大会参加日の14日前の時点もしくはそれ以降に、過去14日以内に「新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる者（※5）」が身近にいた。

※5 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる者とは、「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者」又は「医師が感染の疑いありとしてPCR等検査の受検を勧奨し、未受検及び検査結果待ちの者」と定義する。

ただし、「新型コロナウイルス感染症の感染を疑われる者」が、感染疑い症状がなく、新型コロナウイルスの感染リスクが低いことを示す医師の診断書がある場合、参加を認めても構わない。

- ・大会参加日の 28 日前の時点もしくはそれ以降に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった者。

2 大会参加にあたっての健康観察及びリスク管理

- ・大会参加者は、大会の成功を担う一員であることを自覚し、自らと他の参加者を新型コロナウイルスの感染から守るため、自らの体調管理に最大限の注意を払うこと。
- ・大会参加者は、大会参加日の 14 日前の時点から会場地を出るまでの間、多数が集まるイベント(※6)や会食を原則避け、各自で新型コロナウイルスへの感染リスクを抑える行動をとること。

※6 大会の開・閉会式や競技会等を除く。

- ・大会参加日の 14 日前の時点もしくはそれ以降において、体調管理チェックシートに起床時体温、健康状態及び行動歴を毎日記録すること。

3 大会参加日の対応

- ・大会参加者は、出発前に自宅や宿舎等において体調管理チェックシートの調査項目について確認し、発熱(37.5℃以上)または調査項目に1つでも「あり」に該当した場合は、会場へ来場をしないこと。
- ・大会参加者は、大会参加日には会場へ体調管理チェックシートを持参すること。
- ・会場の受付(※受付周辺を含む)において、検温で 37.5℃以上の者、体調管理チェックシートにおいて感染疑い者と判断された者は、会場内への入場を許可せず、帰宅又は帰宿させる。

また、感染疑い者と判断された者の体調管理チェックシートは、受付で回収する。(それ以外は回収しない。)

4 大会参加後の対応

- ・会場地を出た日の翌日から 14 日間、体調管理チェックシートに起床時体温、健康状態及び行動歴を毎日記録すること。